

ボランティア・市民活動情報誌

ぼらのたね OITA

URL ☎ <http://www.oitavoc.jp> E-mail ✉ oitavoc@oitavoc.jp
 ~ボランティアの種を蒔いて育てよう~

発行所
 社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
 大分県ボランティア・市民活動センター
 〒870-0907
 大分市大津町2丁目1番41号

お問合せ先
 TEL (097) 558-3373
 FAX (097) 558-1296

25号

東日本大震災から3年が経過しました。この未曾有の大震災は日本に大きな傷跡を残しましたが、それと同時に「なんとか困っている人の力になりたい」「少しでも被災した方々の役に立ちたい」という思いから、多くのボランティアさんが集い、その活動は人とのつながりの大切さや、人間の温かみについて教えてくれました。そこで今回は、そんなボランティア活動の『魅力』について、改めてお伝えしていこうと思います。

ボランティア活動の



1.自分からすすんで行動する

「自主性・主体性」

ボランティアは、自分自身の考えによって始める活動であり、誰かに強要されたり、義務として行わせる活動ではありません。どんな小さなことでも「自分ができること」「自分がしたいこと」を探ることがボランティア活動の始まりです。自分自身の「やってみよう」という気持ちを大切にしましょう。

2.ともに支え合い、学び合う

「社会性・連帯性」

わたしたちの社会には様々な課題が存在します。こうした課題を発見し、改善していくためには一人ひとりが考えること、多くの人びとと協力しながら力を合わせて行動することが大切です。

3.見返りを求めない

「無償性・無給性」

ボランティアは対価を期待したり、収入を得るための活動ではなく、活動目的の達成によって出会いや発見、感動、そしてよろこびといった精神的な報酬を得る活動です。「ありがとう」の感謝の言葉や活動を通じて友達がたくさんできることが自分の心を豊かにしてくれます。

4.よりよい社会をつくる

「創造性・開拓性・先駆性」

目の前の課題に対して、何が必要なのか、そして、改善のためにはどうすればよいか。ボランティア活動では、従来の考え方にとらわれることなく、自由な発想やアイデアを大切にしながら、方法やしぐみを考え、創り出していくことが大切です。



収集ボランティア

- ◆中古テニスボール
- ◆古切手
- ◆テレホンカード

今年度も多くの企業・団体・個人の方々よりご協力をいただきました。大変ありがとうございました。いただいた中古テニスボールは、臼杵市の小中学校や支援学校の椅子や机の騒音防止に利用され、大変喜ばれております。古切手やテレホンカードは、大分県盲人協会さんの協会活動費に役立てられます。

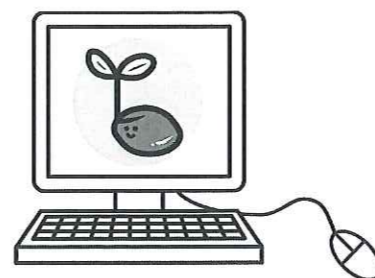
※引き続き、中古テニスボール・古切手・テレホンカード等は募集しております。皆様のご協力をお願いいたします。



ボランティア活動報告

「第33回大分国際車いすマラソン大会」ボランティア

2013年10月27日(日)に当大会が行なわれました。当日は高校生から70代まで、総勢22名の運営ボランティアさんが参加してくださいました。初参加の方も多かったのですが、みなさん元気に活動しておりました。来年もたくさんの方に参加していただき、多くの感動を一緒に感じていただきたいです。



ホームページもあるよ!!

<http://www.oitavoc.jp/>

大分県ボランティア・市民活動センター

開所時間8:30~17:15 (お気軽にどうぞ!)

ボランティア・市民活動ルーム

開所時間9:00~20:30(月~土曜日)

9:00~16:30

* 平日の17:00以降と土・日・祝日は要予約 (利用料無料です!!)

『第10回大分県ボランティア・NPO 推進大会』を開催しました！

(開催日：平成26年3月8日)

平成26年3月8日(土)に、大分県教育会館で『第10回大分県ボランティア・NPO 推進大会』を開催しました。

この大会は、日頃から支え合える元気な地域社会づくりを目指すために、住民一人ひとりのボランティア精神を醸成することと、NPO 活動を活性化させ、地域課題に対する市民活動の機運を盛り上げることを目的としています。

講師には同志社大学社会学部教授の立木茂雄氏をお呼びし、「支え合いの絆で繋ぐボランティア活動」というテーマ公演をしていただきました。

本大会の分科会として、第2会場では行政、企業・団体としてできる具体的な取り組み方、効果的な進め方について理解を深めるために、『行政との協働、企業・団体の CSR(社会責任)セミナー』を開催しました。講師には IIHOE[人と組織地球のための国際研究所]の代表である川北秀人氏をお呼びしました。白熱した議論が繰り広げられ、予定時間を大きく超えた大好評の分科会となりました。

第3会場では『平成25年度福祉教育研究発表会』を開催しました。この研究発表会では、福祉教育・ボランティア活動の実践事例の発表や情報交換等により、今後の学校や地域における福祉教育の推進を図ることを目的としています。講師には日本文理大学教授の山岸治男先生をお呼びし、3校の活動事例発表者を交えて、公演をしていただきました。ボランティア活動者同士の意見の衝突もありましたが、最後には感動で涙声になる人も見かけ、福祉教育の重要性について再確認した研究発表会となりました。

参加者350人を超える大会となりました！！



たくさんのご参加ありがとうございました！

『平成25年度大分県災害ボランティア体験型研修会』を開催しました！

(開催日：平成26年1月26日)

避難所運営訓練を通じて災害時に必要なボランティア活動等の知識を体験的に習得するとともに各種ボランティア団体等の関係を図るために「災害ボランティア体験型研修会」が平成26年1月26日(日)に大分県総合社会福祉会館大ホールで開催されました。

この研修会は、『大分県災害ボランティアネットワーク』登録団体より検討委員を推薦していただき、その委員とともに話し合いながら作り上げていく研修会です。

当日は災害により避難所が設置されたことを想定し、参加者が住民や障がい者などの要援護者、自治会長、民生児童委員、消防団員、行政職員など様々な役割を演じながら避難所の運営について学びました。

午後からは国土交通省大分河川国道事務所の「災害設定状況について」や大分県土木建築部の「避難所点検について」、大分県LPガス協会の「生活環境(トイレ)について」の説明がありました。

さらに大分県アマチュア無線赤十字奉仕団連絡協議会による「避難者の受入」や大分県地域福祉推進室の「福祉避難所の設置」、大分県薬剤師会の「薬剤提供」、大分県県民活動支援室の「避難所を被災者支援極点に」などの説明もありました。

また、AED(自動体外式除細動器)の使い方の実演や別府大学短期大学部食物栄養科の立松洋子教授による「避難所での食事の献立」などの説明があり、参加者は食物栄養科の学生たち当日が作った非常食などを昼食として食べながら学んでいました。

避難所で起こりうる様々な場面を想定したロールプレイ



ある方は寝たきりに



ある方は盲目に



様々な専門的な団体と協働で行なわれました